

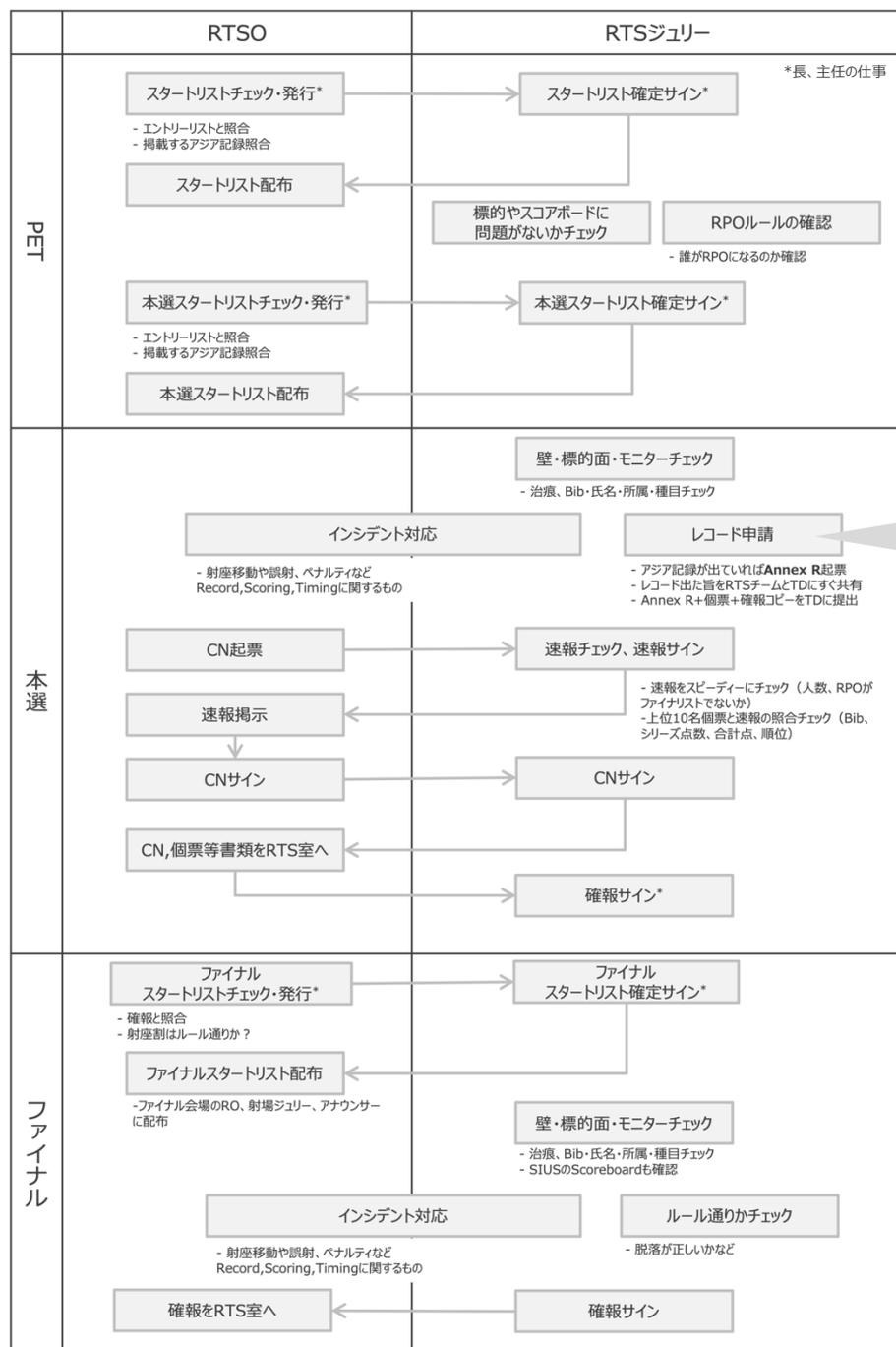
私はアジアエアガンへ RTS ジュリーとして出役しました。私にとって初めての国際大会でのジュリーでしたが、学びが多く勉強になりました。いくつかノウハウや学びをシェアさせていただければと思います。

RTS ジュリー、RTSO の役割分担：役割分担はもちろん、会場ごとの仕事割も参考になりました

RTSチェアパーソン	1名	最終的なチェック担当 各日程で誰がどの射群の本選/ファイナルを担当するか仕事割を作成する ジュリー・NTO業務の指示監督
RTSジュリー	5名	本選会場、ファイナル会場それぞれに配置
CRTSO (RTS長)	1名	RTSオフィスで書類等管理、スタートリストの発行・チェック
RTSO (RTS役員)	3名	本選会場、ファイナル会場でCNやIRの対応、スタートリストサイン依頼

DAY	TIME	COMPETITION	MEMBER	FINAL TIME	MEMBER
12.11.2022 Day 3	10:00-11:15	10m Air Rifle Women	Ami Lee	12:15	Anderson / Qaisar
	10:00-11:15	10m Air Rifle Women J		13:45	Moon / Qaisar
	Part112:00-12:30	10m Air Rifle Men Team Y		15:15	Qi En /moon
	Part213:00-13:20	10m Air Rifle Women Team Y	Lee moon	16:45	Lee / Anderson
	Part110:00-10:30	10m Air Rifle Men Team		12:30	Moon / Anderson
13.11.2022 Day 4	Part110:00-10:30	10m Air Rifle Women Team		14:00	Moon / Qaisar
	Part211:00-11:20	10m Air Rifle Men Team J	Qi En Ami Lee	15:30	Anderson / Qaisar
	Part112:00-12:30	10m Air Rifle Women Team J		17:00	Moon / Lee
	Part213:00-13:20	10m Air Rifle Women Team Y			
	14:00-14:45	PET 10m Air Pistol Men Y			
	14:00-14:45	PET 10m Air Pistol Women Y			

RTS ジュリー、RTSO の業務フロー：基本的な業務フローは ISSF マニュアルが参考になります



レコード申請必要書類



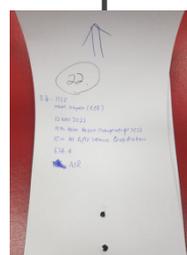
Annex R



個票



確報



発生インシデント及び議論が生じたこと

- 1) タイブレークの混乱：6.15.1(f)小数点競技はシリーズカウントバックだが、RTS ジュリー間で整数点競技における(a)～(e)と混同しており議論になった。ルールブックの表現も混乱が生じやすい。

6.15 ※6.15.1	<p>同点の順位決定（タイブレーク） 10m、25m、50m、300m種目の個人競技の同点 10m、25m、50m、300m種目における同点は次のルールによってすべて順位決定がなされる。</p> <p>a) X圏（インナーテン）の数の多い者。 b) 最終シリーズ10発の合計点（X圏の数や小数点得点ではない）の多い者。以下均衡が破れるまでシリーズを逆順にさかのぼる。 c) 最終弾の得点（X圏を含む）の高い者。以下均衡が破れるまで1発ずつ逆順にさかのぼる。 d) それでも同点が残りに、ESTを使用していた場合、最終弾の小数点得点の高い者。以下均衡が破れるまで1発ずつ逆順にさかのぼる。 e) 以上をもってしても順位が決定しない場合、ファイナル進出者の決定に関わる同点でなければ、当該選手は同順位とし、選手の姓のアルファベット順に記載されなければならない。 f) 10mエアライフルと50mライフル伏射種目の予選または本選ラウンドで小数点得点を使用した場合、同点の順位決定は小数点得点によるシリーズカウントバック、小数点得点による1発ごとのカウントバックによって決定される。</p>
整数点競技のみのルール	}
小数点競技のみのルール	

- 2) 射座移動の対応：射座移動発生時に射場ジュリーと RTS ジュリーとの連携が不足し、誰がどこに移動して何分延長し、何発撃つのか判断にうまく携われなかった。RTS ジュリーは Record, Scoring, Timing に関するインシデントは射場ジュリーと連携して対応する必要がある。

- 3) 本射中のエアガス発射：RO が即座に発見したため、スピーディーに RTS ジュリーから EST に 0 点挿入の指示をできた。RO が担当射座範囲をよく監視している好事例。

- 4) アジア記録更新：申請フォーム（ISSF Annex R）を作成し、TD に提出した。ドーピング検査が発生するため記録発生時点ですぐに TD へ連絡する必要があった。

- 5) RTSO との連携：RTS ジュリー側、RTSO 側それぞれで想定している業務担当範囲・フローに齟齬があり、認識を合わせるのに時間がかかった。大会ごとに競技開始前、最中、終了後、ジュリーと NTO それぞれがどのように業務を遂行するのか確認しておくスムーズに連携できそう。

国内大会で活かそうなこと

- 自分も最近理解したが、正確で迅速な大会運営のために基本的な RTS の責務、業務フローを理解しておくこと
- 競技開始前のスタートリストチェック段階で、日本記録を確認しておく（最新情報を協会に問い合わせしておく）
- 迅速にかつ正確な記録を発表し、スムーズに競技会を進行すること（速報掲示は射群終了後 2 分を目標に）
- 疑問があればすぐにセクション内ジュリーで相談し、解決しない・判断が割れるようであれば TD にも相談・判断を仰ぐ



RTS ジュリー同士で疑問を解決中



システムから出力された弾痕と黒ロール紙を重ねてターゲットテスト



RTS チーム